

10月22日

テーマ：「イエスさまがくださる平安」

聖書箇所：ヨハネの福音書14章27節

◆今日のみことば

わたしは、あなたがたに平安を残します。わたしは、あなたがたにわたしの平安を与えます。わたしがあなたがたに与えるのは、世が与えるのとは違います。あなたがたは心を騒がしてはなりません。恐れてはなりません。

ヨハネの福音書 14章27節

◆メッセージ

みんなには、安心できる場所、ほっとできる時間がありますか？それはお家かもしれないし、学校かもしれません。お家のトイレっていう人も結構いるみたいです。特別な場所や時間じゃなくても、自分の好きなことをしているときとか、好きな誰かと一緒にいる時間かもしれないですね。それとは逆に、不安な時、寂しい時もあります。友だちとケンカしちゃった時、嫌なことをしたりされたりした時、困ったことがあった時、ひとりぼっちになって心細い時。私たちの心はすぐにざわざわして落ち着かなくなります。



今日のみことばは、イエスさまが十字架にかかれる前に弟子たちにお話しになったことばです。弟子たちがこれから先に不安になる出来事がたくさんあるというのをイエスさまは知っていました。イエスさまが十字架にかけられてしまい、取り残された弟子たちは悲しくて心細くて、その後どうしたらいいのかわからなくなってしまう。周りの人たちはイエスさまを十字架につけた人たちですから、弟子である自分たちもバカにしたり攻撃してくるかもしれません。とても怖く、心は落ち着かなくなるでしょう。そんな弟子たちに、イエスさまは今日のみことばを話されたのでした。

イエスさまが「わたしの平安」と言われる、イエスさまが与えてくださる平安。それはイエスさまがいつも、どこにでも一緒にいてくださるという安心であり、私たちが決してひとりぼっちにはしないという嬉しくて心強い約束です。これはこの世が与えるものとは違います。私たちが不安になる時、楽しいことをしたり安全な場所に行ってその不安をごまかそう・忘れようとしています。でも次の困ったことがあると、またすぐに元どおりになってしまう。しかし、イエスさまと一緒にいてくだされば、たとえ嵐の中でも、どうしようもなく悲しい時でも、一人ぼっちの夜にも、僕たちの心は落ち着き、平安が与えられるのです。イエスさまはそのために十字架にかかれたのですから。



◆お祈り

「いつも、どんなときも、父なる神さま、イエスさま、そして、聖霊なる神さまと一緒にいてくださって、助けてくださることを感謝します。」

(金沢中央教会伝道師 山口契)